

令和3年度予算 教育委員会 主要施策

教育委員会では、市長と教育委員会で共有する「北九州市教育大綱」の方向性に沿って、SDG sの視点を踏まえたシビックプライドの醸成等を目指し、市民総ぐるみで子どもの教育を支える取組を推進していきます。

「第2期北九州市子どもの未来をひらく教育プラン」に基づき、学校・教職員と教育委員会は、互いにコミュニケーションを図り、一体となって取組を進めるとともに、家庭、地域、関係機関等と連携しながら各種施策を着実に推進します。

令和3年度は、新学習指導要領の着実な実施を図りながら、①1人1台端末を活用した効果的な学習の促進、②SDG sの理念の一つである「誰一人取り残さない」ための総合的な教育施策の実施、③コロナ禍においても、子どもたちが安全で安心して学ぶことができるよう感染症対策等に取り組み、子どもたちの学びを着実に進めていきます。同時に、「学校における業務改善プログラム（第2版）」を着実に推進し、教員が子どもと向き合う時間の確保に向けた不断の取組を進めます。

I 時代を切り拓く力の育成

- 1 子どもひまわり学習塾事業
- 2 子どもの読書活動の推進
- 3 外国語教育の推進
- 4 SDG s教育推進事業
- 5 小中一貫教育検討事業
- 6 小池特別支援学校整備事業
- 7 小倉総合特別支援学校整備事業
- 8 小倉北特別支援学校等整備事業
- 9 「特別支援教室」設置事業
- 10 「特別支援学校配置看護師」の配置事業
- 11 スクールバス運行委託事業（コロナウイルス対策増車・令和3年度）

II 働きがいのある学校づくり

- 12 ICTを活用した指導力育成を目指す教員の資質能力向上事業
- 13 学校支援のための講師等配置事業
- 14 学校における業務改善コンサルティング業務
- 15 スクールサポートスタッフの配置事業
- 16 部活動指導員の配置

III 安心な学びの場づくり

- 17 「チーム学校」運営・推進事業
- 18 SDG s達成のための次世代型教育推進事業
- 19 感染症対策のための衛生環境整備事業

IV 市民総ぐるみでの支援

- 20 コミュニティ・スクール、地域学校協働活動事業
- 21 子どもひまわり学習塾事業

V 未来を見据えた環境整備

- 22 1人1台タブレット端末整備事業
- 23 ICT活用支援事業
- 24 GIGAスクール構想の実現に伴う通信経費
- 25 学校施設老朽化対策事業
- 26 学校トイレ整備事業
- 27 35人以下学級編制の拡充に伴う施設整備事業

VI 図書館に関する事業

- 28 八幡図書館折尾分館運営・移転事業

教育委員会総務部総務課

担当（田中・猪本） TEL：582-2352

※個別の事業の内容については、各担当課へお尋ねください。（P8参照）

I 時代を切り拓く力の育成

1 子どもひまわり学習塾事業

100,000 千円
(他に債務負担 10,900 千円)

児童生徒の主体的な学習習慣や、基礎的・基本的な学力の確実な定着を図るため、放課後等を活用して学習機会を提供する「子どもひまわり学習塾」を実施する。

2 子どもの読書活動の推進

395,195 千円

「北九州市子ども読書活動推進条例」及び「北九州市子ども読書プラン」に基づき、子どもたちが読書に親しむ環境を整え、学校図書館の利用を促進するため、全中学校区及び特別支援学校に学校図書館職員を配置し、学校における読書活動を推進する。

また、「子ども図書館」を拠点として子どもの読書活動の推進を図る。

3 外国語教育の推進

420,185 千円
(他に債務負担 263,000 千円)

外国語教育を通じて、他者とのコミュニケーション能力の素地や基礎を養うため、ALTの効果的な配置等を行う。

小学校においては、英語に堪能で専門的な知識を有した日本人の指導助手（日本人ALT）を配置するほか、「話すこと」の力を育むため、一部の小学校で試行的にオンライン英会話学習を実施する。

中学校においては、イングリッシュコンテスト等を開催することにより、自ら発信し、世界で活躍、貢献できるコミュニケーション能力の育成を図る。

4 SDGs教育推進事業

6,580 千円

SDGs推進校を指定し、特色ある取組及び実践研究を行うとともに、その成果等を取りまとめて全市に発信し、SDGsの視点を踏まえた教育を拡大・充実する。

また、新学習指導要領に示されている「持続可能な社会を創る担い手」の育成やシビックプライドの醸成を図るため、引き続きSDGsの視点を踏まえた地域教材を作成し、教科等の学習で活用する。

5 ⑨小中一貫教育検討事業

1,000 千円

本市の義務教育9年間を通じた教育活動を充実し、これまで取り組んできた小中一貫・連携教育をさらに推進するため、「北九州市小中一貫教育検討会議」を開催する。

6 小池特別支援学校整備事業

1,429,200 千円

(他に債務負担 911,000 千円)

西部地域における知的障害のある児童生徒の増加への対応及び老朽化した校舎等の狭あい化等の課題を解消するため、小池特別支援学校の第1期改築工事を引き続き実施するとともに、校舎の一部解体工事に着手する。

7 小倉総合特別支援学校整備事業

414,600 千円

小倉総合特別支援学校児童生徒の教育環境の充実を図るため、旧総合療育センター西棟を解体し、グラウンドを整備する。

8 小倉北特別支援学校等整備事業

一般会計分 85,800 千円

特別会計分 1,290,000 千円

(合計 1,375,800 千円)

校舎等の老朽化及び教室不足等の狭あい化等の課題を解消するため、小倉北特別支援学校及び北九州中央高等学園の移転建替えに係る用地の先行取得及び基本設計等を実施する。

9 「特別支援教室」設置事業

2,300 千円

通常の学級に在籍する支援が必要な発達障害等の児童が、必要な時間に障害特性に応じた特別な指導を受けるための「特別支援教室(小学校)」を全区(小倉北区、八幡西区の2区→7区)に設置する。

10 「特別支援学校配置看護師」の配置事業

6,700 千円

医療的ケアを必要とする児童生徒本人や保護者が安心して学校生活を送れるよう、日常的な医療ケア(経管栄養、酸素吸入等)を行うために肢体不自由の特別支援学校に配置している看護師を2名増員する。

11 スクールバス運行委託事業（コロナウイルス対策増車・令和3年度）

（2月補正予算）

補正予算額 153,600千円

特別支援学校のスクールバスの運行について、児童生徒の安全面の観点から換気が行いにくく、長時間密集した状態になるなど、「3つの条件」が重なる恐れがあることから、感染リスクの低減を図るため、スクールバスを増車し、児童・生徒の座席の間隔を空けて運行する。

II 働きがいのある学校づくり

12 ⑨ ICTを活用した指導力育成を目指す教員の資質能力向上事業

2,000千円

教育の情報化の加速に伴い、研修や実践を通してICTを活用した指導力の育成を図っていく。また、オンライン型研修を充実させ、キャリアステージに応じた研修を体系的に整備し、すべての教員の資質・能力の向上を図る。

13 学校支援のための講師等配置事業

521,544千円

学力向上や長期欠席・不登校対応など、学校の課題や状況に柔軟に対応し、学校運営を円滑に進めていくため、講師等を配置する。

14 ⑨ 学校における業務改善コンサルティング業務

5,000千円

教育委員会と学校が一体となって取り組んでいる業務改善において、民間企業の業務改善に関するノウハウを積極的に取り入れることにより、学校単位での具体的な取組に着手し、新たな視点で業務改善を実践する。

15 スクールサポートスタッフの配置事業

247,140千円

学校における業務改善の一環として、教員の負担を軽減し子どもと向き合う時間を確保するため、スクールサポートスタッフを15名増員して配置する。

<116名→131名 15名増>

16 部活動指導員の配置

17,800 千円

教員の負担軽減と部活動の振興を図るため、顧問教員に代わって単独での指導や引率等の業務を行う「部活動指導員」の配置時間を一部拡充するなど、部活動の環境整備を実施する。〈部活動指導員 28名の活動時間を拡充〉

Ⅲ 安心な学びの場づくり

17 「チーム学校」運営・推進事業

【スクールカウンセラー活用による問題行動等防止】

79,400 千円

長期欠席・不登校の児童生徒への対応や、いじめ・自殺などの諸問題の未然防止を図るため、「心の専門家」であるスクールカウンセラーを配置する。

【スクールソーシャルワーカー活用事業の充実】

89,900 千円

貧困や虐待・不登校等への対応など、児童生徒の問題行動の背景にある家庭等の問題に対し、関係機関との連携による支援を行うため、「福祉の専門家」であるスクールソーシャルワーカーを1名増員（17名→18名）して配置する。

【スクールロイヤーの活用】

3,314 千円

生徒指導上の諸課題等に対する相談対応や学校に出向いて法的助言を行うスクールロイヤーの活用を図ることで、子どもが安心して学校生活を送ることのできる環境を整える。

18 新SDGs達成のための次世代型教育推進事業

9,500 千円

認知機能のトレーニングによる子どもの学ぶ意欲の向上を図るほか、一部の小学校での授業における試行的なオンライン英会話の実施や、不登校の子どもに対するオンライン授業など、SDGsの理念に則り、多様な子どもたちの次世代型教育を推進する。

19 感染症対策のための衛生環境整備事業

(2月補正予算)

補正予算額 13,300 千円

各学校における感染症対策や感染者対応等を徹底するため、継続的に必要となる消毒液やマスク等の保健衛生用品を購入することにより、衛生環境の整備等を行う。

IV 市民総ぐるみでの支援

20 コミュニティ・スクール、地域学校協働活動事業

59,673 千円

地域と学校が連携・協働し、地域全体で未来を担う子どもたちの成長を支えていくために、「コミュニティ・スクール」と「地域学校協働活動」の一体的な実施に向けた取組を進める。

21 子どもひまわり学習塾事業

100,000 千円

(他に債務負担 10,900 千円)

児童生徒の主体的な学習習慣や、基礎的・基本的な学力の確実な定着を図るため、放課後等を活用して学習機会を提供する「子どもひまわり学習塾」を実施する。

V 未来を見据えた環境整備

22 1人1台タブレット端末整備事業

448,995 千円

国の「GIGAスクール構想の実現」に基づき、1人1台端末を活用した個別最適化された学びを持続的に実現する。

23 新 ICT活用支援事業

117,600 千円

教員のICT活用指導力の向上と、1人1台端末の更なる活用を進めるため、GIGAスクールサポーターを配置する。

24 GIGAスクール構想の実現に伴う通信経費

31,000 千円

1人1台端末を活用した学校でのICT教育の充実化や、新型コロナウイルス感染症等による臨時休校時における家庭でのオンライン学習環境の支援を進めるため、必要となる通信経費を確保する。

25 学校施設老朽化対策事業

540,800 千円

※令和2年度2月補正予算(5,152,900千円)と合わせて、5,693,700千円の事業費を計上

安全で安心な教育環境を整備するため、「北九州市学校施設長寿命化計画」に基づき、大規模改修(長寿命化改修)及び外壁改修などの老朽化対策や安全対策を実施する。

26 学校トイレ整備事業

270,000 千円

児童生徒が利用する学校トイレの洋式化を推進するため、改修工事を計画的に実施する。

27 35人以下学級編制の拡充に伴う施設整備事業

(2月補正予算)

補正予算額 81,300 千円

きめ細やかな指導体制の充実等の観点から、既に小学校1～3年生及び中学校1年生で実施している35人以下学級編制について、小学校は全学年に拡充するため、必要となる普通教室を整備する。

VI 図書館に関する事業

28 八幡図書館折尾分館運営・移転事業

207,800 千円

折尾地区総合整備事業にともない移転する折尾分館について、施設整備を行うとともに、引き続き仮移転先にて図書館業務を継続する。

教育委員会主要施策に関するお問い合わせ先

	主要施策(事業)名	主担当課
1	子どもひまわり学習塾事業	学力・体力向上推進室 (582-3445)
2	子どもの読書活動の推進	指導第一課 (582-2368) 子ども図書館(571-0011)
3	外国語教育の推進	指導第一課 (582-2368)
4	SDGs教育推進事業	指導第一課 (582-2368)
5	小中一貫教育検討事業	企画調整課 (582-2357)
6	小池特別支援学校整備事業	企画調整課 (582-2357)
7	小倉総合特別支援学校整備事業	企画調整課 (582-2357)
8	小倉北特別支援学校等整備事業	企画調整課 (582-2357)
9	「特別支援教室」設置事業	特別支援教育課 (582-3448)
10	「特別支援学校配置看護師」の配置事業	特別支援教育課 (582-3448)
11	スクールバス運行委託事業 (コロナウイルス対策増車・令和3年度)	学事課 (582-2378)
12	ICTを活用した指導力育成を目指す教員の資質能力向上事業	教育センター (641-1775)
13	学校支援のための講師等配置事業	教職員課 (582-2372)
14	学校における業務改善コンサルティング業務	教職員課 (582-2372)
15	スクールサポートスタッフの配置事業	教職員課 (582-2372)
16	部活動指導員の配置	指導第二課 (582-2369)
17	「チーム学校」運営・推進事業	指導第二課 (582-2369)
18	SDGs達成のための次世代型教育推進事業	教育センター (641-1775) ※認知機能訓練 指導第一課 (582-2368) ※英会話関係 指導第二課 (582-2369) ※不登校関係
19	感染症対策のための衛生環境整備事業	学校保健課 (582-2381)
20	コミュニティ・スクール、地域学校協働活動事業	指導第一課 (582-2368)
21	子どもひまわり学習塾事業	学力・体力向上推進室 (582-3445)
22	1人1台タブレット端末整備事業	学事課 (582-2378)
23	ICT活用支援事業	学事課 (582-2378)
24	GIGAスクール構想の実現に伴う通信経費	学事課 (582-2378)
25	学校施設老朽化対策事業	施設課 (582-2361)
26	学校トイレ整備事業	施設課 (582-2361)
27	35人以下学級編制の拡充に伴う施設整備事業	教職員課 (582-2372) ※35人編制関係 施設課 (582-2361) ※施設整備関係
28	八幡図書館折尾分館運営・移転事業	中央図書館庶務課(571-1481)